



25年度現地説明会の様子

国指定史跡「日向洞窟」発掘60周年記念事業

国指定史跡日向洞窟発掘60周年記念講演会

眠りから覚めた 日向洞窟

—その魅力に迫る

平成27年9月12日(土) 14:45~17:00

屋代地区公民館(多目的ホール) <申し込み不要・無料>

〒992-0342 山形県東置賜郡高島町竹森55 TEL.0238-52-0069
問い合わせ / 高島町教育委員会社会教育課

〒992-0392 山形県東置賜郡高島町大字高島436 TEL.0238-52-4472

主催 / 高島町教育委員会、高島町文化財保護会

東北芸術工科大学東北文化研究センター

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業『環境動態を視点とした地域社会と集落形成に関する総合的研究』

同日開催

日向洞窟遺跡発掘調査現地説明会(詳細裏面)

国指定史跡「日向洞窟」発掘60周年記念事業

国指定史跡「日向洞窟」発掘60周年記念講演会 テーマ「眠りから覚めた日向洞窟 ―その魅力に迫る―

趣旨

国指定史跡「日向洞窟」遺跡は、昭和30年、故柏倉亮吉山形大学教授により最初の調査が行われ、今年で60周年を迎えます。この間、日向洞窟の重要性が評価され、昭和52年には国指定史跡として指定されています。また、この日向洞窟の調査が、昭和30年代に全国規模で実施される洞窟・岩陰遺跡調査の契機となったことは周知の事実です。高島町内においても、一ノ沢岩陰、尼子岩陰、神立洞窟、火箱岩洞窟などが次々と調査され、縄文時代草創期研究に大きな成果が得られました。高島町のみならず、日本国内の遺跡を語る上で、この日向洞窟は最も重要な遺跡であり、発掘60周年を迎えるにあたり、あらためてその価値を確認し、理解を深めていただくために、全国的な視点で講演会を開催するものです。

プログラム

第1部 講演会

講演1「蘇る日向洞窟～芸工大の発掘調査速報～」

長井 謙治（東北芸術工科大学歴史遺産学科専任講師・東北文化研究センター研究員）

講演2「高島町内の史跡洞窟の保存と活用」

水ノ江 和同（文化庁文化財部記念物課文化財調査官）

第2部 フリートーキング

「高島町の洞窟・岩陰遺跡群の今後について」

寒河江 信（高島町長）、丸山 信也（高島町教育委員会教育長）、水ノ江 和同、長井 謙治

日向洞窟遺跡発掘調査現地説明会

日向洞窟遺跡の規模と住環境を明らかにするために、昨年度に引き続き、洞窟周辺部の調査を行っています。下記の日程で現地説明会を行いますので、是非、ご来場ください。

日時／平成27年9月12日（土）13：00～14：00

申し込み不要・参加無料

解説／長井謙治

場所／高島町竹森 現地集合（案内図参照）

主催・問い合わせ／東北芸術工科大学東北文化研究センター

〒990-9530 山形市上桜田 3-4-5

TEL.023-627-2168

協力／山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館、高島町教育委員会

